青い鳥通信

晩秋の候、皆様におかれましては、ますますご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り、厚く感謝しております。

さて、6月1日に新シェルターに移転して以来、初の「青い鳥通信」。今回は酷暑を乗り越え秋を迎えるまでの様子をご紹介させて頂きます。

今年の夏は暑さで、犬も人間も融けてしまいそうな毎日でした。工事用の冷風機しかないシェルターでは、皆でげっそり、ぐったりしながら、ひたすら忍耐しておりました。8月に入り、ついに夢にまで見たエアコンが設置され、犬たちもホッとした姿をみせてくれました。みんな、良く頑張ってくれました。

猫部屋のほうは、既にエアコン付きです。真夏も涼しく快適に過ごせています。食欲も旺盛！おやつもしっかり食べます。おやつは別腹にゃのね、その気持ちわかる、わかる。

犬シェルターの方は新しいけど　まだエアコンがつかなくて暑いんですって！！

出逢い　おめでとういっぱい、いっぱい幸せになってね

家族ができたよ！

毎年、犬猫合わせて350匹以上を受け入れており、日々のお世話や里親募集などで関係者は、いつもてんてこ舞い。寝不足で目が充血したボランティアさんもおられます。一匹でも多く救いたい！という情熱と行動力に感謝の毎日です。保健所情報で多数収容されているのを見ると、「こんなにいるの？！」と悲鳴を上げてしまいます。そんな日常で救いとなるのが、譲渡決定のときです。救われた命が幸せを掴んでくれますように、それが私たちの唯一の願いであり、原動力です。

人間家族はこういうのを見ているのにゃ。へ～～、ところで背後に視線を感じにゃいか？

暖かくて可愛いベッドなのにゃ。幸せ。

ペンダントも着けてももらいまちたよ。愛がいっぱいでち。

そして別れ・・・

虹の橋を渡った子たち

具合が悪い場合は、可能な限り治療をしてもらいますが、それでも亡くなる子がいます。今年は地球温暖化や台風の影響のせいか、病気の子がとても増えており、治療の甲斐もなく命を落とす子も増加しています。

青い鳥ではスタッフとボランティア専用ラインで、亡くなった子の情報を共有し、その都度、より多くの方にお祈りしてもらっています。

「天国では安らかに幸せでいてください」

在りし日のレノファ（右）

譲渡会　幸せのご縁につながりますように

譲渡会は、毎月2回開催し、多くのご縁を頂いております。里親になって頂ける方がいなければ、新しい受け入れが不可能となり、犬猫の保護はストップしてしまいます。青い鳥メンバーは、いつも心の中で「誰か助けて！この子を家族に迎えてください」と叫んでいます。

最近はマスコミのご協力もあり、保護犬・猫にスポットライトが当たることが多くなりました。希望を感じるとともに、もっと広がって欲しいと願っています。

また、地域のイベントにも参加させて頂き、多くの方々とふれあうことができました。

皆様方におかれましては、お風邪など召しませぬよう、どうぞご自愛ください。

㊗ミニニュース㊗

猫部屋のボス・ハク君が

10月28日、ついに譲渡となりました。

ずっとのおうちで、ずっとずっと幸せにね。

関係者の皆さまへ

青い鳥動物愛護会

日頃より、保護犬・猫に温かいご理解を賜りまして、ありがとうございます。

毎年恒例の青い鳥通信が出来上がりましたのでお送りいたします。

またたいへん恐縮ではございますが、ふるさと納税の資料も同封させて頂いております。青い鳥動物愛護会は、厳しい運営状態において、一重に皆様のご支援によって支えられております。何卒、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和元年11月吉日

NPO法人青い鳥動物愛護会
代表　清水久仁子